

令和 6 年 6 月 25 日現在

機関番号：12601

研究種目：基盤研究(C)（一般）

研究期間：2019～2023

課題番号：19K01062

研究課題名（和文）教皇権を事例とする西洋中世の代理及び代表の思想と制度に関する研究

研究課題名（英文）A study on idea and institutions of representation in Medieval Europe: A case of the papacy

研究代表者

藤崎 衛（FUJISAKI, Mamoru）

東京大学・大学院総合文化研究科・准教授

研究者番号：50503869

交付決定額（研究期間全体）：（直接経費） 3,400,000円

研究成果の概要（和文）：西洋中世の代理及び代表の思想と制度について主に教皇を事例に検討を行った。思想面に関しては、教皇の称号や普遍的教会及び個別的地域教会がどのような表現されたかを跡付けることで、中世初期から末期にかけての思想的展開を把握することができた。制度・実践面に関しては、特に13世紀に教皇によってモンゴルへ派遣された托鉢修道士らからなる宣教団の「教皇の代理」としての側面とその具体的活動を教皇文書の分析を基に明らかにし、その成果を日欧の言語による口頭発表や論文の形で公表した。

研究成果の学術的意義や社会的意義

人文学・社会科学において関心を共有しうる「代理」及び「代表」という問題について、西洋中世の教皇権を中心に考察を深め、宗教的権威者の権限の委任がどのように行われていたのかを主に二つの成果において明らかにした。第一に、11世紀以降の教皇使節の活動を、教皇権の強化・拡張と関連付けつつ理論面と実践面の双方から具体的に解明した。第二に、13世紀半ばから14世紀初頭にかけて教皇がモンゴル諸勢力に派遣した外交・宣教使節の活動について、使節の供給源となった托鉢修道会の特徴と関連付けつつ具体相を描き出した。

研究成果の概要（英文）：The ideology and institutions of representation in the Western Middle Ages were examined, mainly with regard to the case of the papacy. In terms of ideology, this study traced the expression of papal titles, the universal church and individual local churches, and thus provided an understanding of the ideological development from the early to the late Middle Ages. With regard to the institutional and practical aspects, this project clarified the aspect of the missions of mendicant friars sent by the pope to Mongolia in the 13th century as 'papal agents' and their specific activities, based on an analysis of papal documents, and I have published the results in the form of oral presentations and articles in the Japanese and European languages.

研究分野：西洋史学

キーワード：代理 代表 中世 教皇権

## 1. 研究開始当初の背景

ある人物が他の人物を代理したり、他の集団を代表したりすることは、現代人の日常生活においてありふれたことであるが、そこには素朴な疑問、例えば、「代理」と「代表」という日本語あるいはそれに該当する欧米諸言語の表現の間に意味上の違いはあるのか、代理や代表には「どのようにして」あるいは「どの程度」他者の人格や権限が付与あるいは委譲されるのか、というような問いが成り立ちうる。このため、代理や代表をめぐる問題は、他者性・アイデンティティ・集団性・コミュニケーションといった、学術的に考察を深めるべき概念にも接続しうると言明することも可能である。

このような問題を提起する代理や代表という行為は、西洋中世という固有の時代においてどのように考えられ、どのように実社会で機能したのだろうか。この問いに対しては、研究代表者が専門とする教皇権を事例に具体的に考察することが可能であろうと判断した。このような問題関心は、中世政治思想史の専門家である B.ティアニーによる公会議主義に関する著書が、研究課題として遂行する価値があると保証しているといつてよい。ティアニーによれば、“repraesentare” というラテン語が「代表する」という意味を獲得したのは、古代ローマではなく、13 世紀から 14 世紀初頭にかけての教皇庁周辺のことであったという。この時期、教皇や枢機卿がキリストあるいは使徒たちの人格(ペルソナ)を代表するという意味で用いられるようになったのである。これと類似した例として、13 世紀の教皇特使は「教皇の人格の代理として(tanquam personae nostrae vicarium)」派遣先で受け入れられるべきであるとされたことが知られている。この点は、研究代表者のこれまでの研究が明らかにしていた。

やがて教皇庁以外でも“repraesentare”の使用は広がりを持つようになり、人間でないもの、たとえば共同体を代表するということが可能だと考えられたり、ローマ法学者や教会法学者たちによって、統治者が国全体のイメージを代表すると論じられるようになったりした。このように、西洋という特定の地域の特定の時期に「代表」に関する独自の代表概念が練磨されつつあったことを踏まえると、13 世紀を含む中世中期から後期にかけての教皇権のもとでそのような概念をめぐる議論と実践面でのあり方を歴史学的に検討する意義がおのずと浮かび上がってくる。

## 2. 研究の目的

本研究は、「代理」および「代表」というものが人文学や社会科学において広く研究対象となりうるものであることを前提に、「代理」および「代表」という問題を、西洋中世の教皇権を事例として概念と実際の運用のそれぞれの観点から解明することを目的とする。具体的な検討対象となるのは、「ペトロの代理(vicarius Petri)」あるいは「キリストの代理(vicarius Christi)」という教皇の称号、教皇から裁判業務を委任された「委任裁判官(judices delegati)」、各地の聖俗機関に代わり教皇庁で請願や訴訟を代行した「代理人(procuratores)」、教皇の代理として各地に派遣された「教皇使節(legatus papae)」、その他の外交使節、代議制との比較がなされる「公会議主義」を取り上げ、それぞれについて概念的な面と実践面を可能な範囲内で明らかにし、相互比較と総合を行う。

## 3. 研究の方法

概念史の研究としては、まず「代表する(repraesentare)」、「代理人(vicarius; procurator)」等の概念をめぐる学説史の整理を行い、先行研究を批判的に検討する。そのうえで、「使節(legatus; missus, nuntius 等)」、「委任された者(delegatus)」等の概念をめぐる学説史の整理を行い、先行研究を批判的に検討する。また、B.ティアニーの古典的研究など、「公会議主義」の概念をめぐる学説史の整理を行い、先行研究を批判的に検討する。以上の概念に関する研究を比較検討し、概念的に重複する部分やずれる部分を明確にして、最終的に総合し、結論を導き出す。

実態面・制度面の研究としては、まず研究代表者が博士論文を作成する過程で史料の刊行(または未刊行)状況が明瞭になった、西欧各地の聖俗機関の在ローマ代理人に関する史料調査を実施する。そのうえで、西欧各地の聖俗機関の在ローマ代理人に関する史料調査を実施する。教皇使節および委任判事に関する史料調査を実施する。さらに、教皇がモンゴル諸勢力に派遣した施設活動の実態解明を、教皇文書を主たる史料として実証的に進める。

上記研究内容にもとづく成果をまとめて学会や研究会での報告を用意・実施するとともに、論文を作成し、学会誌等に投稿する。

## 4. 研究成果

思想面に関しては、教皇の称号や普遍的教会及び個別的な地域教会がどのような表現されたかを跡付けることで、中世初期から末期にかけての思想的展開を把握することができた。その成果は、研究会における口頭発表「公会議主義と地域教会 D.S.Peterson の文献紹介による」などにまとめることができた。

制度・実践面に関しては、特に 13 世紀に教皇によってモンゴルへ派遣された托鉢修士らか

らなる宣教団の「教皇の代理」としての側面とその具体的活動を教皇文書の分析を基に明らかにした。その成果は、いくつかの学会・研究会発表において、また「教皇庁とモンゴルとの接触十三世紀におけるコミュニケーション手段」(『メトロポリタン史学』)や、「西欧とモンゴルの間におけるコミュニケーション 宣教・外交における翻訳・通訳をめぐる問題」(『西洋史研究』)などの数点の論文等にまとめることができた。

## 5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計10件（うち査読付論文 0件 / うち国際共著 0件 / うちオープンアクセス 1件）

1. 著者名 藤崎衛	4. 巻 新輯52
2. 論文標題 西欧とモンゴルの間におけるコミュニケーション 宣教・外交における翻訳・通訳をめぐる問題	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 西洋史研究	6. 最初と最後の頁 158-171
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 藤崎衛	4. 巻 15
2. 論文標題 (新刊紹介) Agostino Paravicini Bagliani, La papessa Giovanna: I testi della leggenda (1250-1500) [Millennio Medievale, 120], Firenze, SISMEL - Edizioni del Galluzzo, 2021	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 西洋中世研究	6. 最初と最後の頁 200-201
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 藤崎衛	4. 巻 17
2. 論文標題 教皇庁とモンゴルとの接触 十三世紀におけるコミュニケーション手段	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 メトロポリタン史学	6. 最初と最後の頁 67-88
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 藤崎衛	4. 巻 -
2. 論文標題 教会改革	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 金澤周作他編『論点・西洋史学』（ミネルヴァ書房）	6. 最初と最後の頁 86-87
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 FUJISAKI Mamoru	4. 巻 44
2. 論文標題 Diplomatic Communication between the Popes and the Khans until 1270s	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Journal of Western Medieval History	6. 最初と最後の頁 69-99
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.21591/jwmh.2019.44.2.069	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 藤崎衛 (監修)	4. 巻 33
2. 論文標題 第三ラテラノ公会議 (1179 年) 決議文翻訳	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 クリオ	6. 最初と最後の頁 39-56
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 藤崎衛	4. 巻 128(5)
2. 論文標題 ヨーロッパ (中世 西欧・南欧) (2018 年の歴史学界 回顧と展望)	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 史学雑誌	6. 最初と最後の頁 322-327
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 藤崎衛	4. 巻 -
2. 論文標題 祈りを必要とする教皇たち 中世における教皇の死とメモリア	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 上智大学文学部史学科編 『歴史家の調弦』 (上智大学出版)	6. 最初と最後の頁 263-281
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 藤崎衛	4. 巻 11
2. 論文標題 母、教師、花嫁としての中世ローマ教会	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 西洋中世研究	6. 最初と最後の頁 31-46
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 藤崎衛	4. 巻 -
2. 論文標題 二十一世紀の宗教を見とおすためのよすが	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 鈴木宣明『ローマ教皇史』(ちくま学芸文庫)	6. 最初と最後の頁 256-266
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

〔学会発表〕 計13件(うち招待講演 9件/うち国際学会 5件)

1. 発表者名 藤崎衛
2. 発表標題 死すべき教皇と永続する教皇職 西洋中世におけるカトリック教会と教皇権の普遍性
3. 学会等名 東京大学グローバル・スタディーズ・セミナーSeason3 第2回
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 藤崎衛
2. 発表標題 非キリスト教圏君主宛教皇文書にみる自他の呼称
3. 学会等名 史学会第121回大会西洋史部会シンポジウム「中世後期の教皇と文書」
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 藤崎衛
2. 発表標題 教皇とモンゴル（特にイル・ハン国）君主の間における翻訳・通訳をめぐる問題
3. 学会等名 2023年度イタリア中近世史研究会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 FUJISAKI, Mamoru
2. 発表標題 Explaining the Christian faith in the papal letters to the Mongols
3. 学会等名 The Papacy and the Mongolian reigns in the 13th and 14th Centuries (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 FUJISAKI, Mamoru
2. 発表標題 La spiritualita della missione e del martirio in Angelo Orsucci
3. 学会等名 Missionari Martiri e Cristiani. Nascosti in Giappone. 300 anni di eroica fedelta a Cristo (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 Mamoru Fujisaki
2. 発表標題 Efforts at understanding and awareness of misunderstanding: communication between popes and Mongolian monarchs in the Middle Ages
3. 学会等名 Papstzoom: (Miss-)Verstehen - (Fra-)intendimento II (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 藤崎衛
2. 発表標題 教皇とフレグ・ウルス君主の間におけるコミュニケーションー翻訳・通訳をめぐる問題
3. 学会等名 2022年度西洋史研究会大会共通論題「13世紀ユーラシアにおけるキリスト教世界とモンゴル帝国」(招待講演)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Mamoru Fujisaki
2. 発表標題 Knowledge, Study and Teaching of Foreign Languages in Thirteenth- and Fourteenth-Century Papal Curia
3. 学会等名 Papstzoom (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 藤崎衛
2. 発表標題 中世カトリック圏ヨーロッパとモンゴルの間における相互理解と誤解
3. 学会等名 メトロポリタン史学会第17回大会シンポジウム「前近代世界における宗教運動と文化交流の諸相」(招待講演)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 藤崎衛
2. 発表標題 「教皇史」を学ぶ G・バラクロウ『中世教皇史[改訂増補版]』藤崎衛訳(八坂書房)の刊行を記念して
3. 学会等名 上智大学中世思想研究所講演会(招待講演)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Mamoru FUJISAKI
2. 発表標題 The Curia and the Khan A Franciscan Mission to the Ilkhan Abaqa
3. 学会等名 Oberseminar Mittelalterliche Geschichte (Wuppertal) (招待講演)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 藤崎衛
2. 発表標題 公会議主義と地域教会 D.S.Petersonの文献紹介による
3. 学会等名 REN研究会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Mamoru FUJISAKI
2. 発表標題 Diplomatic Communication between the popes and the Khan until 1270s
3. 学会等名 Medieval Communication: Some Aspects. The 10th Japanese-Korean Symposium on Medieval History of Europe (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

〔図書〕 計11件

1. 著者名 Paolo Giuliotti, Olimpia Niglio (eds.)	4. 発行年 2023年
2. 出版社 Edizioni La Villa	5. 総ページ数 323
3. 書名 THESAURUM FIDEI Missionari martiri e cristiani nascosti in Giappone. Trecento anni di eroica fedelta a Cristo. Atti del convegno internazionale (Lucca, 6-7 maggio 2023) (Mamoru FUJISAKI, "Il Giappone per Angelo Orsucci")	

1. 著者名 藤崎衛	4. 発行年 2023年
2. 出版社 NHK出版	5. 総ページ数 168
3. 書名 世界史のリテラシー ローマ教皇は、なぜ特別な存在なのか：カノッサの屈辱	

1. 著者名 樺山紘一、中牧弘允（編）	4. 発行年 2023年
2. 出版社 丸善出版	5. 総ページ数 390
3. 書名 世界のクリスマス百科事典（藤崎衛「イエスの生誕、12月25日」「ローマのサトゥルナリア祭と冬至祭」「ゲルマン世界の冬至祭」「降誕から公現への十二夜」「古代東方キリスト教のクリスマス」「サンタクロースの出現」「中世・近代における祝祭」）	

1. 著者名 Mamoru Fujisaki et als.	4. 発行年 2023年
2. 出版社 Routledge	5. 総ページ数 208
3. 書名 Communicating Papal Authority in the Middle Ages	

1. 著者名 デイヴィッド・アブラフィア（著）、高山 博、佐藤 昇、藤崎 衛、田瀬 望（訳）	4. 発行年 2021年
2. 出版社 藤原書店	5. 総ページ数 536
3. 書名 地中海と人間 原始・古代から現代まで	

1. 著者名 デイヴィド・アブラフィア(著)、高山 博、佐藤 昇、藤崎 衛、田瀬 望(訳)	4. 発行年 2021年
2. 出版社 藤原書店	5. 総ページ数 512
3. 書名 地中海と人間 原始・古代から現代まで	

1. 著者名 高山 博、亀長 洋子	4. 発行年 2022年
2. 出版社 東京大学出版会	5. 総ページ数 648
3. 書名 中世ヨーロッパの政治的結合体	

1. 著者名 金澤周作監修	4. 発行年 2020年
2. 出版社 ミネルヴァ書房	5. 総ページ数 340
3. 書名 論点・西洋史学	

1. 著者名 ジェレミー・ブラック(著)、下田明子(訳)、藤崎衛(監修)	4. 発行年 2020年
2. 出版社 ニュートンプレス	5. 総ページ数 251
3. 書名 世界史：300点の写真とイラストで大図解	

1. 著者名 G・バラクロウ(著)、藤崎衛(訳)	4. 発行年 2021年
2. 出版社 八坂書房	5. 総ページ数 384
3. 書名 中世教皇史 [改訂増補版]	

1. 著者名 上智大学文学部史学科編, 藤崎衛	4. 発行年 2019年
2. 出版社 上智大学出版	5. 総ページ数 358
3. 書名 歴史家の調弦	

〔産業財産権〕

〔その他〕

-

6. 研究組織

氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関		
ドイツ	Bergische Universität Wuppertal		